

地域医療支援病院業務報告書

令和5年 9月19日

愛知県知事殿

開設者 住 所

〔法人の場合は主たる
事務所の所在地〕 愛知県長久手市平池901番地

氏 名

〔法人の場合は名称及
び代表者職・氏名〕 愛知県厚生農業協同組合連合会
代表理事理事長 宇野 修二 印

下記のとおり、令和4年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院					
所 在 地	愛知県江南市高屋町大松原137番地					
診 療 科 名	内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、緩和ケア内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科、形成外科、小児外科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
	—	—	—	—	684	684

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集 中 治 療 室	(主な設備) 人工呼吸器/PCPS/超音波エコー/生体情報モニター/病床数/透析装置/除細動器/体外式ペースメーカー/急速輸血輸液加温装置 病床数 6床
化 学 検 査 室	(主な設備) 自動搬送生化学測定装置/自動血球算定装置/フローサイトメーター
細 菌 検 査 室	(主な設備) 質量分析装置/自動血液培養装置/自動感受性測定装置
病 理 検 査 室	(主な設備) 癌遺伝子検査装置/自動包埋装置/自動免疫染色装置/凍結切片作成装置
病 理 解 剖 室	(主な設備) 解剖台/臓器撮影装置
研 究 室	(主な設備) 椅子/机
講 義 室	室数 1 収容定員 講堂：200人
図 書 室	室数 1 蔵書数 2,510冊程度 他情報ツールあり
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) ストレッチャー 患者搬送車 保有台数 1台 ※検査証記録事項写し添付
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 53.31㎡ -[共用室の場合]- 室と共用

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

別紙1

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

2 紹介率 令和4年度 67.9%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 (A/B×100)
17,511人	25,782人	67.9%

3 逆紹介率 令和4年度 74.7%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 (C/B×100)
19,278人	25,782人	74.7%

【資料1】紹介率・逆紹介率

- ※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。
- ※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。
- ※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数：2, 713件
 これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数：2, 713件
 共同利用に係る病床の病床利用率：29.7%

【資料2-1】共同利用を行った医療機関の延べ機関数

【資料2-2】共同利用に係る病床の病床利用率

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

2 共同利用の範囲等

・共同利用に関する医療機器

コンピュータ断層撮影装置、磁気共鳴画像診断装置、陽電子放出断層撮影装置、SPECT装置、X線テレビ撮影装置、X線一般撮影装置、歯科用パントモX線装置、骨塩定量測定装置、乳房撮影装置、超音波撮影装置、内視鏡、超音波診断装置、自動解析心電計、ホルター心電図解析システム、運動負荷システム、熱画像検査装置、脳波計、神経検査装置、肺機能検査装置、血圧脈波検査装置、一酸化窒素検査装置、オージオメーター、尿素呼気測定装置、睡眠検査装置

・共同利用に関する設備

講堂、会議室1、会議室2、多目的室、図書室、地域医療連携センター

【資料2-3】共同利用の範囲

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを記入すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規程	④ ・ 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	看護師

【資料2-4】共同利用規程

【資料2-5】共同利用病床運営細則

【資料2-6】医療機器・図書室共同利用細則

【資料2-7】地域連携に伴う諸記録閲覧細則

【資料2-8】登録施設制度実施規程

※3 共同利用に関する規程がある
 場合には、当該規程の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
※別紙				

【資料2-9】登録医療機関の名簿（医科・歯科）

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5床

3階南病棟 338-4 4階東病棟 481-1 5階東病棟 569 6階西病棟 616-4 7階西病棟 728-2

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考						
		※別紙	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">〔</td> <td>常勤</td> <td rowspan="2">〔</td> <td>専従</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>非専従</td> </tr> </table>	〔	常勤	〔	専従	非常勤	非専従		
〔	常勤	〔	専従								
	非常勤		非専従								

【資料3-1】重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者（令和5年3月31日）

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称（ICU）	6床
専用病床	名称（救命救急病棟）	24床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救急外来 1F	451.11㎡	(主な設備)人工呼吸器/超音波エコー/生体情報モニター/除細動器/急速輸血輸液加温装置/麻酔器	可
診療放射線室 1F	1975.91㎡	(主な設備)CT/MRI/一般撮影装置/放射線治療装置	可
内視鏡センター 1F	292.29㎡	(主な設備)内視鏡光源装置/内視鏡(上部9本 大腸4本 気管支5本)/内視鏡自動洗浄機	可
臨床検査室 2F	597.55㎡	(主な設備)血液ガス分析装置/自動血球算定装置/全自動輸血検査装置	可
救命救急病棟 3F	342.83㎡	(主な設備)人工呼吸器/超音波エコー/除細動器/生体情報モニター	可
ICU 3F	172.81㎡	(主な設備)人工呼吸器/PCPS/超音波エコー/透析装置/除細動器/生体情報モニター	可
血管撮影室 3F	170.94㎡	(主な設備)血管撮影装置/人工呼吸器/ IABP/超音波エコー/除細動器/生体情報モニター/体外式ペースメーカー	可
手術室 3F	1198.07㎡	(主な設備)外科用X線装置/超音波エコー/麻酔器/腹腔鏡/手術ナビゲーション/手術支援ロボット	可

【資料3-2】施設の見取り図

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	7, 589人 (3, 076人)
上記以外の救急患者の延べ数	16, 361人 (1, 880人)
合計	23, 950人 (4, 956人)

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数 124回

6 備考

救命救急センター指定 (平成27年10月)
病院群輪番制病院

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

【資料 4-1】研修会の内容・実績

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	53回
(2) (1) の合計研修者数	2,349人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。
 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- (1) 研修プログラムの有無 ・無
- (2) 研修委員会の有無 ・無
- (3) 研修指導者

氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	備考
※別紙				年	
				年	
				年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

【資料 4-2】地域研修プログラム・研修計画

【資料 4-3】地域医療福祉連携委員会要綱

※当院では地域医療福祉連携委員会にて、教育研修について検討しています。

【資料 4-4】研修指導者

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	287.73㎡	マイク放送設備 映像設備 (プロジェクター/PC/DVD/TV) 椅子、机、ホワイトボード
会議室 1 会議室 2 多目的室	182.76㎡	映像設備 (プロジェクター/PC/TV) 椅子、机、ホワイトボード

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管理責任者の 氏名、職種、役職等		医師	病院長
管理担当者の 氏名、職種、役職等	病院管理： 診療情報： 地域連携：	事務員 事務員 社会福祉士	総務課長 医事課長 患者支援室長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

	保 管 場 所	分 類 方 法
<p>診療に関する諸記録</p> <p>病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約</p>	<p>病院管理 …<u>総務課</u></p> <p>診療情報 …<u>電子カルテ</u></p>	<p>→日付</p> <p>→患者 I D</p>
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携センター
	救急医療の提供の実績	医事課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	患者相談支援センター
	閲覧の実績	地域医療連携センター
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携センター

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
閲覧の実績

閲覧責任者	氏 名	職 種	役 職 等		
		医 師	副院長兼 地域連携部長		
閲覧担当者	氏 名	職 種	役 職 等		
		看護師	地域連携係長		
閲覧場所	地域医療連携センター ※「こうせいネット」閲覧件数				
総閲覧件数	医 師	歯科医師	地方公共 団 体	そ の 他	合 計
	8,071	0	0	32	8,103
閲覧手続の概要	<p>(手続きの概要)</p> <p>閲覧を希望する者は、あらかじめ地域医療連携センターに閲覧日時、目的及び閲覧を希望する諸記録等の名称を連絡し、許可を受けた後に、地域医療連携センターにて閲覧することができる。</p> <p>【資料 2-7】地域連携に伴う諸記録閲覧細則参照</p>				

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

- 1 委員会の開催回数 4回 (5月・8月・11月・2月)
- 2 委員会における議事の概要

【資料7-1】地域医療支援委員会 委員名簿・議事録 (資料)

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

令和4年度第1回地域医療支援委員会

日時：令和4年5月11日 (水)

14:30～15:30

場所：江南厚生病院 多目的室

議題：令和3年度実績報告

在宅医療の勉強会実施予定

江南厚生病院 健康講座の取り組み

こうせい連携だより (2022年4月) の

発行

質疑応答

出席者 (出席者数/委員数) : 15名/16名

令和4年度第2回地域医療支援委員会

日時：令和4年8月3日 (水)

14:30～15:30

場所：江南厚生病院 多目的室

議題：令和4年4月～6月実績報告について

がん相談支援係行事報告

江南市休日診療所における日祝日に

発熱外来実施について

質疑応答

出席者 (出席者数/委員数) : 16名/16名

令和4年度第3回地域医療支援委員会

日時：令和4年11月2日 (水)

14:30～15:30

場所：江南厚生病院 講堂

議題：令和4年7月～9月実績報告

ピンクリボンDAY実施・オンデマンド

配信の報告

江南厚生病院 COVID-19対応報告

質疑応答

出席者 (出席者数/委員数) : 15名/16名

令和4年度第4回地域医療支援委員会

日時：令和5年2月1日 (水)

14:30～15:30

場所：江南厚生病院 多目的室

議題：令和4年10月～令和4年12月実績報告

地域関係機関との会議の報告

新型コロナウイルス感染症の感染症

法上の位置づけの変更等に関する対

応方針について

質疑応答

出席者 (出席者数/委員数) : 16名/16名

患者相談の実績

患者相談を行った場所	患者支援室			
患者相談担当者	氏	名	職	種 役 職 等
			社会福祉士	患者支援室長
			社会福祉士	患者相談支援課長
			社会福祉士	医療福祉相談係長
			社会福祉士	在宅医療支援係長
			看護師	がん相談支援係長
		看護師	退院支援係長	
患者相談件	24,178件			

患者相談の概要

各種相談の最初の窓口としては、1階の総合案内や総合相談で看護師を配置し、患者さんがどこに相談すればいいか迷わないような合理的配慮を行っている。相談内容に応じて院内各部署と連携をとりながら丁寧な対応を心がけている。

また、当院の患者相談窓口は外来の2階に患者相談支援センターとして患者や院内外からわかりやすい場所に設置している。専門職による相談体制を整備しており、①医療福祉相談 ②がん相談 ③在宅医療支援 ④退院支援 ⑤苦情対応 ⑥医療安全 などの対応をしている。

また、同場所に江南市の地域包括支援センター、訪問看護ステーションを併設しており、合わせて同じ窓口での相談体制がある。

番号	内 容	件数
1	受診・入院に関する相談	1,021
2	退院・転院に関する相談	17,659
3	在宅・療養上の相談	3,143
4	医療費を含む経済的相談	2,102
5	心理、情緒的相談	63
6	権利擁護に関する相談	84
7	医療安全に関する相談	17
8	その他の相談	89

【資料 8-1】患者相談支援センター運営規程

【資料 8-2】患者相談支援センター組織図

【資料 8-3】患者相談支援センター相談対応事例

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

【資料 9 - 1】 居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の概要

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

【資料 9 - 2】 医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の概要

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

1. 地域の医師、看護師、介護・福祉関係者に対して地域の医療提供体制が成熟・拡大するための取り組みを当院主催または医師会と共催にて行っている。

1) 症例検討会 毎月開催（各診療科担当）

当院の医師および登録医を対象とした勉強会

2) 在宅医療の勉強会 年 5 回

在宅支援機関の多職種等を対象とした勉強会

3) 地域関係機関との地域連携会議の開催 年 3 回 * 令和 4 年度は①のみ実施

① 病院福祉施設関係者

② 在宅支援関係機関

③ 訪問看護ステーション

④ 有料老人ホーム

⑤ 救急医療との連携施設

2. 積極的に地域の医療機関訪問を行い、地域の医療機関より提供される医療資源や診療体制の確認、地域医療・地域医療連携の強化のための活動を行っている。

(参考) 令和 4 年度医療機関訪問数 75 件

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専 用 の 室 の 名 称	地域連携部 患者支援室		
担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等
		看護師 社会福祉士	地域連携係長 患者相談支援課長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評 価 を 行 っ た 機 関 名	日本医療機能評価機構
評 価 を 受 け た 時 期	2019年9月4日～2024年9月3日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。 【資料10-1】日本医療機能評価機構の認定証（写）

3 退院調整部門の取組み

退院調整部門の概要	
<p>患者相談支援センターにソーシャルワーカー（社会福祉士有資格者）11名、看護師等10名を配置している。</p> <p>入院日より退院支援を開始するスクリーニングシステムを稼働し、全入院患者に退院支援アセスメントと患者・家族面談を実施している。また、多職種による退院支援カンファレンスを積極的に行っている。</p> <p>当院の特徴として訪問看護ステーション、地域包括支援センター、がん相談支援センターを患者相談支援センターと同フロアに配置し、院内に限らず様々な患者ニーズ、相談にも応需できる体制を構築している。また、外来での在宅医療支援にも力を入れており、地域連携医や訪問看護ステーションとの連携を促進している。</p>	
令和4年4月～令和5年3月	
退院支援件数	17,659件
退院支援計画書作成数	3,327件
介護支援連携指導料算定数	136件
【資料10-2】退院調整部門	

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

1. 愛知県がん地域連携パス：胃がん・大腸がん・乳がん

登録連携医療機関 103件

令和4年度 算定実績：胃がん19件 大腸がん54件 乳がん17件

2. 脳卒中・大腿骨近位部骨折パス 管理病院1件（当院） 回復期リハビリ病院11件

令和4年度 算定実績：脳卒中 116件

大腿骨近位部骨折 145件

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

- ・ 大腿骨頸部骨折・脳血管疾患の地域連携パス

地域の医療機関が参加する地域連携パス会議を疾患ごとに年3回開催し、各医療機関の役割を明確にし、地域連携が円滑に行われるようにする。また地域連携パスの作成、検証、改定等を行う。地域連携パスの質の向上に向け、研修会・講演会を開催する。

令和4年度 地域連携パス会議開催実績：新型コロナウイルス感染症流行のため、オンラインもしくは文書開催で各3回実施をした。

- ・ がん地域連携パス

かかりつけ医を訪問し、がん地域連携パスの説明を実施

患者への説明

こうせいネット登録医への情報公開

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

病院ホームページ、病院案内、広報誌「なごみ」、「診療機能と地域医療連携のご案内」
「地域連携だより」、デジタルサイネージ、メディネット

内容等の概要

- ・ 地域完結型の医療体制を構築、地域全体の医療の質向上にリーダーシップを果たすこと。
- ・ 地域医療の中核を担い、高度急性期医療に対応すること。
- ・ 次世代の地域医療を担う人材を育成すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする